

# くるめ子どもの医療を守る会 ニュース NO1

(乳幼児医療費助成制度の拡充を求める会は名称を変更しました) 2009年6月1日

## 就学前までの医療費の助成制度拡充に

「たすかっています！」との声が！

久留米では、私たちの長年の運動の成果で2008年10月から就学前までの公費助成制度が導入されました。導入から約半年、一部負担はありますが、就学前の子どもを持つ世帯では以前よりも安心して病院にかかることができると喜びの声が聞こえています。

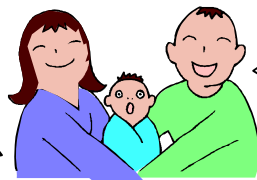
乳幼児医療費助成制度の拡充を求める会は、長年の運動が実ったということで、今後は名称を「くるめ子どもの医療を守る会」と名称を変更し、今後も4団体で手をつなぎ、さらなる対象年齢の拡充・制度を後退させない運動を続けることを決めました。

## 「よかった！たすかっているわ！」の声・声・声

喘息の発作が起きると病院に受診しなければならなかったが早めに病院にかかれます。(30代母)

600円の負担はあるけれども以前よりは受診しやすくなりました。署名を頑張って集めた甲斐がありました。(20代母)

4人の保育園児がいます。一人が病气すると次々に移って...でも前よりも安心して受診できます。(30代母)



子どもが今年年長です。医療費の助成のある小学校入学前に虫歯や耳鼻科などの治療をしたいです。(30代母)

くるめ子どもの医療を守る会

構成団体 / 久留米市歯科保険医協会筑後支部・久留米市保育園保護者会連合会  
筑後地区社会保障推進協議会・新日本婦人の会久留米支部

## でも...こんな声も会に届いています

小学1年の息子が喉に魚の骨をひっかけて、3つの医療機関を受診。3日間合計で16000円の医療費がかかりました。あと1年年齢が小さかったら...。さらなる年齢拡充をしてほしいです。(40代母)

今年はインフルエンザが流行って学級閉鎖になった。予防接種は2回受けられないといけないから一人に約8000円かかるし...うちは子どもが3人だし、とても全員はうけれない。少しでも補助があれば...(30代母)

ヒブワクチンは任意だから4回接種で約3万円。とても負担は大きいです。ワクチンも不足しているみたいだし。国の責任で定期接種化にして欲しい。(20代母)



虫歯、ケガなど小学生になっても医療費がかかります。義務教育の間は安心して病院にかかれるようにしてほしい。(孫をもつ60代女性)

## ヒブワクチンって？

ヒブは、髄膜炎など重症細菌感染症の原因となるインフルエンザb型菌(Hib)。インフルエンザとは無関係。年間約600人がヒブによる髄膜炎を発症しうち5%が死亡、約20%に後遺症が残るとされている。WHOの推計では15才未満ではワクチンで予防可能な病気のうちヒブは麻疹に次いで死者が多く、年間46万人を数える。WHOは98年、ヒブワクチンの乳児への定期接種を勧告し、現在110カ国以上で接種されている。日本でも昨年12月から任意で接種できるようになったが、全額自己負担のため子育て世帯には負担は大きい。

## そんな声を受けて...

「くるめ子どもの医療を守る会」は今後、以下の要望をしていきます。

- ・義務教育までの医療費助成制度拡充を！
- ・各種任意予防接種の助成制度導入

今後とも、みなさんのご理解、ご協力をお願いいたします！

署名行動にご協力下さい！

7月5日(日)

13:00~14:00

ゆめタウン久留米

連絡先 / 新日本婦人の会久留米支部

住所: 〒830-0038 福岡県久留米市西町1038-21 エンゼルコーポ101  
電話/FAX: 0942-38-0160